

遷延性意識障害患者に対する集中的強化的眼洗浄の有用性

Usefulness of intensive eye irrigation for persistent vegetative patients.

延原 則子、小谷 典子、松村 望東美、足立 幸枝、本田 千穂、萬代 真哉、
衣笠 和孜、西本 詮
自動車事故対策機構 岡山療護センター

Noriko Nobuhara, Noriko Kodani, Motomi Matsumura, Sachie Adachi, Chiho Honda, Shinya Mandai, Kazushi Kinugasa, Akira Nishimoto
National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid, Okayama Ryogo Center, Okayama, Japan

【はじめに】遷延性意識障害患者では眼脂・角膜異物・結膜充血などの眼症状がみられることが多く、通常の眼処置をしても持続することが多い。今回、この様な患者に対して集中的強化的に眼洗浄を行い良好な結果が得られたので報告する。【方法】眼脂、結膜充血・角膜異物が持続的にみられる8名(うち3名に角膜上皮に障害あり)に、1日2回400ml以上の微温湯で、内眼角や睫毛などに付着している眼脂や分泌物を除去し、角膜・結膜に十分な量の微温湯を流しながら、眼瞼を介して看護師の指でこするように洗浄した(集中的強化的眼洗浄という)。期間は21日間。眼症状は研究開始の初日、14日目、21日目に観察・比較し写真撮影をした。【結果】結膜充血は5名が改善、角膜損傷のある3名では持続した。眼脂は、1名が7日目に、5名が14日目に消失し、2名では眼脂の量が減少した。角膜異物は5名が消失、角膜損傷のある3名では持続した。【考察】遷延性意識障害患者の眼症状では、通常の軽度の眼洗浄では十分な効果が得られないことが多い。しかし、今回我々が行った集中的強化的眼洗浄では十分な量の微温湯で眼球表面を洗い流すことで、眼脂を形成する成分が効果的に排出され、眼脂が減少し、結膜充血の消失へつながったと考えられた。しかしながら、角膜上皮に障害がある症例には、満足な結果が得られず、コンタクトレンズの使用を含めた眼科的治療を考慮にいれ幅広く対処する必要があると考えられた。【結論】集中的強化的眼洗浄法は、遷延性意識障害患者の眼症状に対して有効である。